

# ようこそ！！地学のせかいへⅧ

大阪府高等学校地学教育研究会

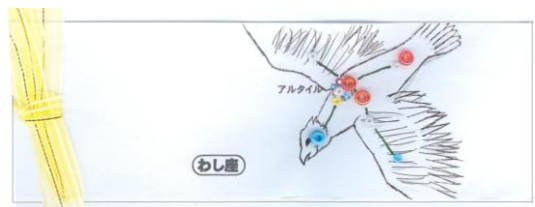
## 1. メッセージ・・・「地学伝え隊」ってなあに？

みなさん、こんにちは。「地学伝え隊」です。私たちは、大阪の高校で「地学」を教えている先生です。「地学のおもしろさを伝えるための仲間」→「みんなでたくさんの人に地学を伝えていきたい」→「地学を伝えたい」→「地学伝え隊」というわけです。

## 2. いろいろ見てみよう、やってみよう

### ①ビーズで星座のしおりをつくろう

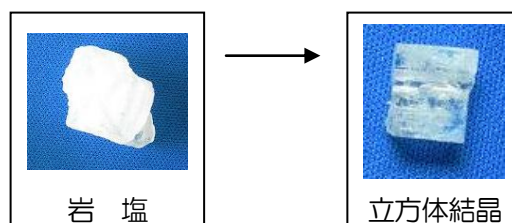
夜空をみるといろいろな星がかがやいています。星にも色があるのに気がついたでしょうか。好きな星座のしおりを選び、星の位置にビーズをはりつけていきましょう。そのとき、星の色や大きさにあわせて、はりつけるビーズの色や大きさをかえましょう。



点のような星にもいろいろあり、色や大きさの違いがあります。「星」というだけでなく、「どのような星」かを見ましょう。

### ②岩塩から塩の結晶を取り出そう

色の白い岩塩を、カッターを使って割っていくと見事な立方体の透明な塩の結晶を取り出すことができます。カッターの使い方に注意しながら立方体の晶を取り出そう。世界各国の岩塩を見てみましょう。



そのほかにもいろいろな地学に関係した展示があります。当日のお楽しみです！！その1つとして科学館で「化石・鉱物探し」をします

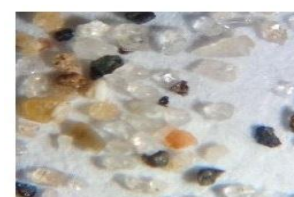
### ③鉱物のうつくしい姿をしおりに・・・鉱物の不思議な世界

みなさんは「砂つぶ」をじっくり観察したことがありますか？川原や砂浜の砂は、さまざまな大きさや形・色の「砂つぶ」があつまっています。ルーペや顕微鏡で観察すると、まるで宝石のようです。この砂つぶの一つ一つを鉱物（こうぶつ）といいます。岩石はこれらの鉱物が集まってできています。岩石をうすくけずって、厚さ0.03ミリぐらいにすると、すきとおって見えます（これを岩石薄片（はくへん）といいます）。



偏光板を通して見た石灰岩

この岩石はくへんを、「偏光板（へんこうばん）」という板をとおして見ると、まるで「ステンドグラス」のように見えます。



河原の砂

今回は、これらのうつくしい鉱物の姿を携帯電話（けいたいでんわ）のカメラなどで写真をとって、しおりにしてみましょう。

### ④化石の型取りをする。

化石というのは、昔の生物の骨や殻などが、地層にうもれて固くなってしまったものです。大きさも顕微鏡で見るような小さいものから、部屋に入りきれない大きなものまでいろいろあります。今回はアンモナイトという頭足類の化石を樹脂で型どりします。



## 3. 注意

特に危険な実験はありませんが、先生の言うことはよくきいてくださいね。